

3-2 土地又は工作物の存在及び供用

3-2-1 大気質

(1) 調査目的

大気質については、施設の稼働後における一般環境大気質の状況を把握するため、事後調査を実施した。

(2) 調査対象

調査対象は、環境影響評価に係る調査、予測及び評価で対象とした二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、窒素酸化物、ダイオキシン類、塩化水素、水銀、降下ばいじんの7物質である。その他、調査結果を解析する上で重要となる測定時の気象の状況（風向・風速、気温、湿度）についても同一地点で実施した。

(3) 調査方法

調査方法は、環境影響評価に係る調査で実施した方法と可能な範囲で同一のものとした。

一般環境大気質及び気象項目の測定方法を表 3-2-1.1 に示す。

表 3-2-1.1 測定方法（一般環境大気質）

対 象	方 法	測定高	
		A3 地点	その他
二酸化硫黄	ステーション及び大気観測車設置による自動連続測定（溶液導電率法）	3.0m	
浮遊粒子状物質	ステーション及び大気観測車設置による自動連続測定（ β 線吸収法）		
窒素酸化物	ステーション及び大気観測車設置による自動連続測定（化学発光法）		
ダイオキシン類	サンプリング（7日間連続吸引）分析（ガスクロマトグラフ質量分析法）	4.0m	1.5m
塩化水素	サンプリング（24時間連続吸引）分析（ろ紙捕集-イオンクロマトグラフ法）	3.0m	
水銀	サンプリング（24時間連続吸引）分析（金アマルガム捕集加熱気化冷原子吸光法）		
降下ばいじん	サンプリング（1ヶ月連続）分析（重量法）	4.0m	
気象条件 （風向・風速、気温、湿度）	ステーション及び大気観測車設置による自動連続測定	風向・風速：10m 気温・湿度：1.5m	

※A3 地点については、環境影響評価に係る調査、予測及び評価で実施した調査と同様に測定箇所が高さ2mのコンクリートフェンスに囲まれているため、大気が淀む可能性を考慮しフェンス高さを超える高さで試料空気を採取した

※その他とはA1、A2、A4地点を示す

※ステーションは、「拠点」という意味があり、一般的に「測定小屋」と「大気観測車」の両方を指している。今回は、A2地点で採用した「測定小屋」をステーションとし、「大気観測車」（A1、A3、A4地点）との区別をした。それぞれは設置の方法が異なるのみであり、測定内容に変更はない。

(4) 調査地点

調査地点は、住居の用に供されている場所や生活環境上の配慮を要する場所の近くで、調査用資機材の安全な設置や電源の確保ができ、調査の実施に伴い地域の方々の日常生活に著しい支障が生じない場所とした。

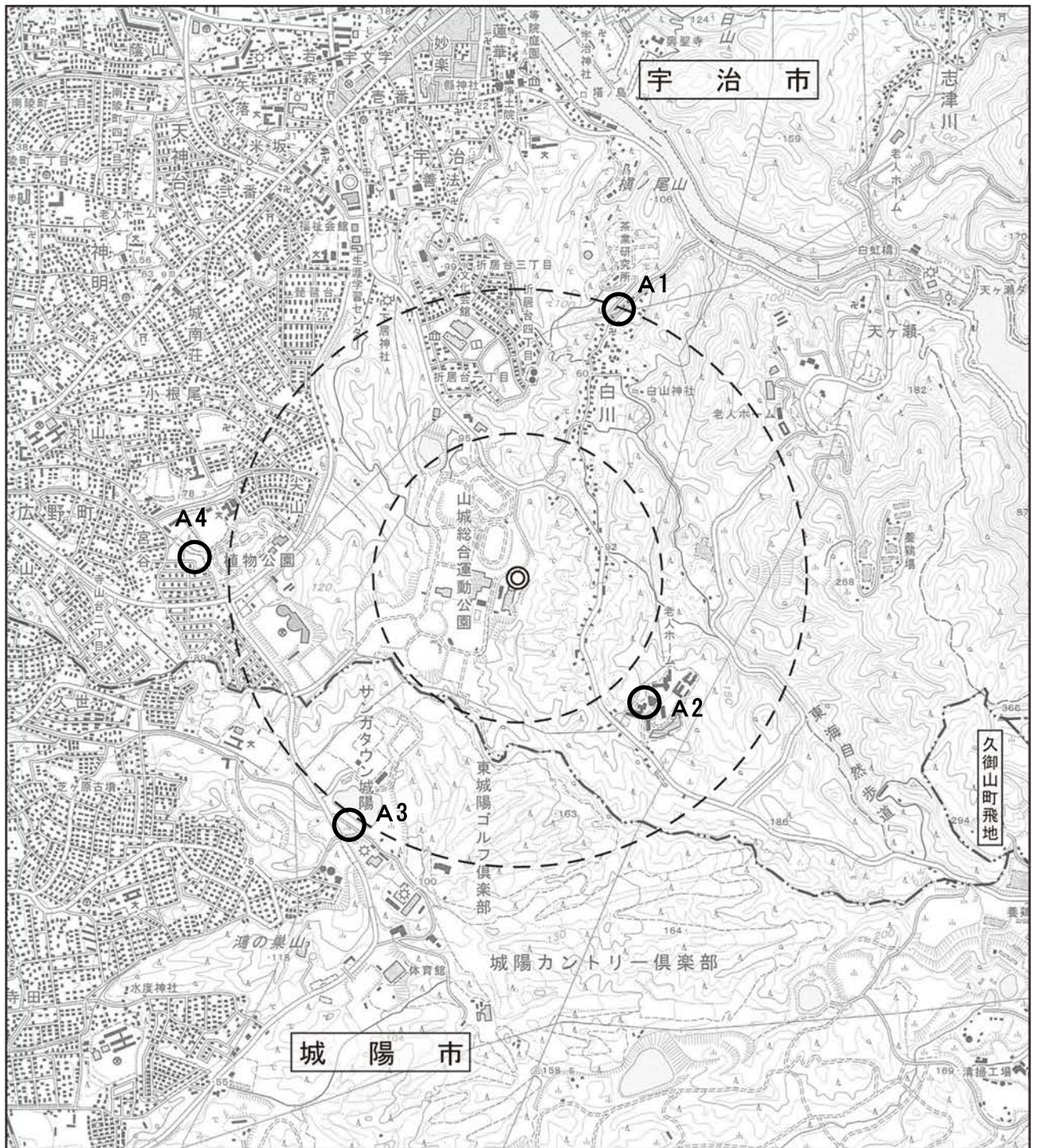
試料空気の採取位置は、人が通常生活し呼吸する高さとして地上 1.5～4.0m の範囲で設定した。調査地点を図 3-2-1.1 に示し、詳細を図 3-2-1.2～図 3-2-1.5 に示す。

なお調査地点の概要を表 3-2-1.2 に示す。

表 3-2-1.2 調査地点

地点	位置	概要
A1	宇治市白川川上り谷	事業地まで距離が近く、住民の用に供されている場所（住居地）の近傍（民家地内の平坦な土地）
A2	宇治市白川鍋倉山	事業地まで距離が近く、住民の用に供されている場所（福祉施設）の敷地内（平坦な土地）
A3	城陽市寺田奥山	事業地まで距離が近く、住民の用に供されている場所（住宅団地等）の近傍（民有地の平坦な空き地）
A4	宇治市広野町尖山	事業地まで距離が近く、住民の用に供されている場所（住宅団地等）の近傍（市管理地の平坦な未利用部分）

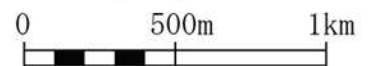
※ただし、A1 地点については、土地所有者の都合等により、支障の生じない程度、環境影響調査での現況調査を行った地点から移動した



凡例 ◎ 事業地 - - - - 市町界
 ○ : 一般環境大気質 (事業地周辺4地点)



1:25,000



この地図は、国土地理院発行の2万5千分1地形図を使用したものである

図3-2-1.1 大気調査地点図



○ A 1 : 宇治市白川中ノ藪 (環境影響評価時)
 ○ A 1 : 宇治市白川川上り谷 (事後調査時)

※A1地点については、土地所有者の都合等により、
 支障の生じない程度、現況調査を行った地点から移動した。

この地図は、宇治市発行の2千5百万分の1地形図を使用したものである

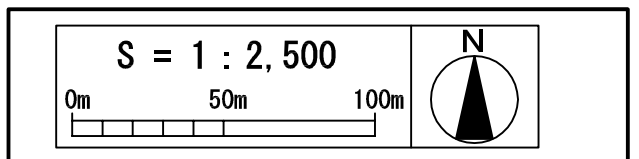
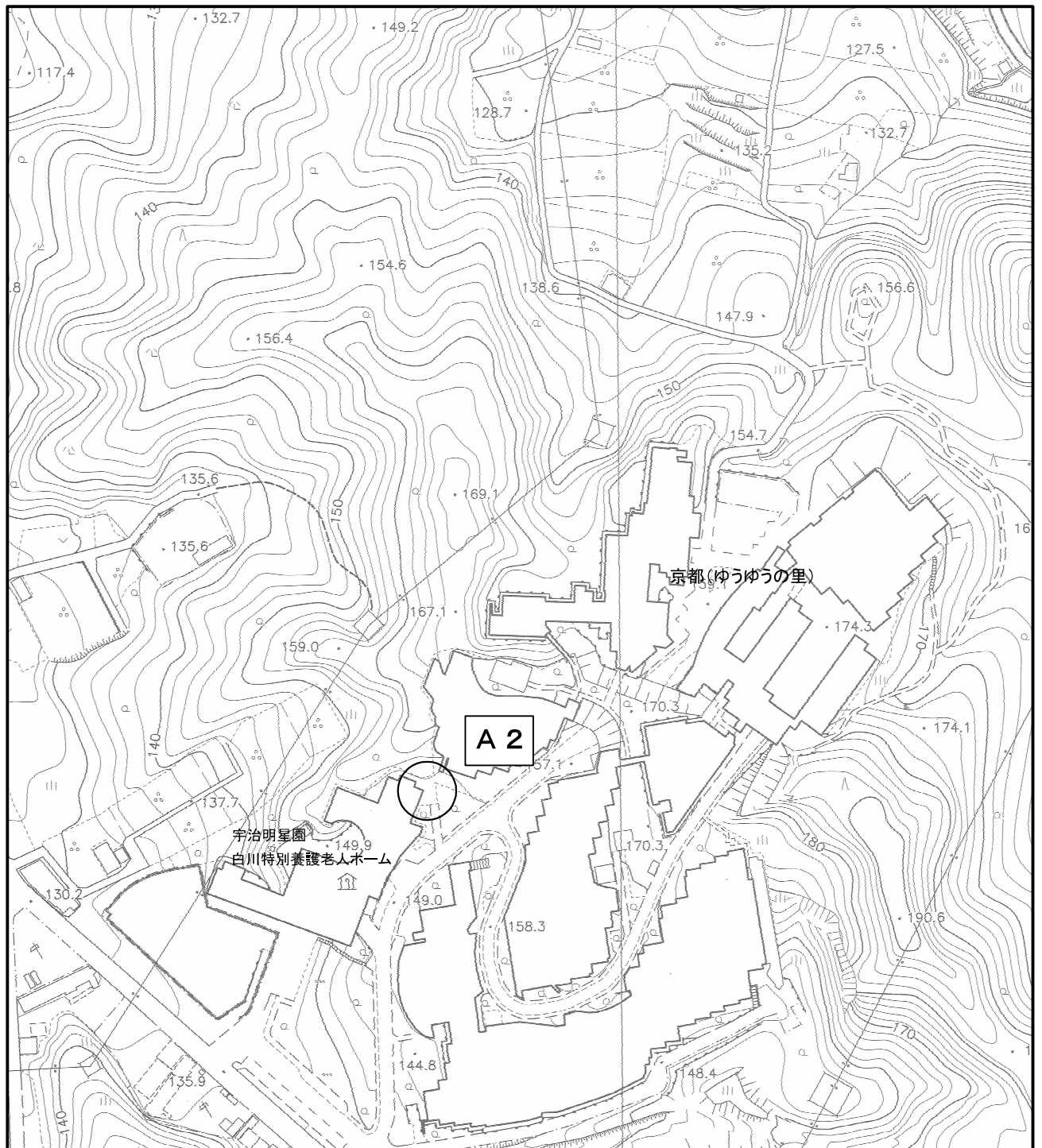


図3-2-1.2 現地調査地点詳細図(A1)



○ A 2 : 宇治市白川鍋倉山

この地図は、宇治市発行の2千5百万分の1地形図を使用したものである

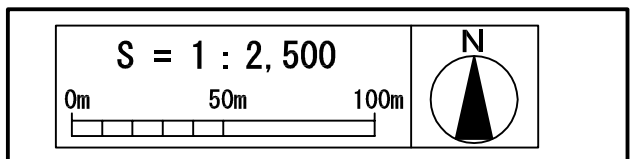
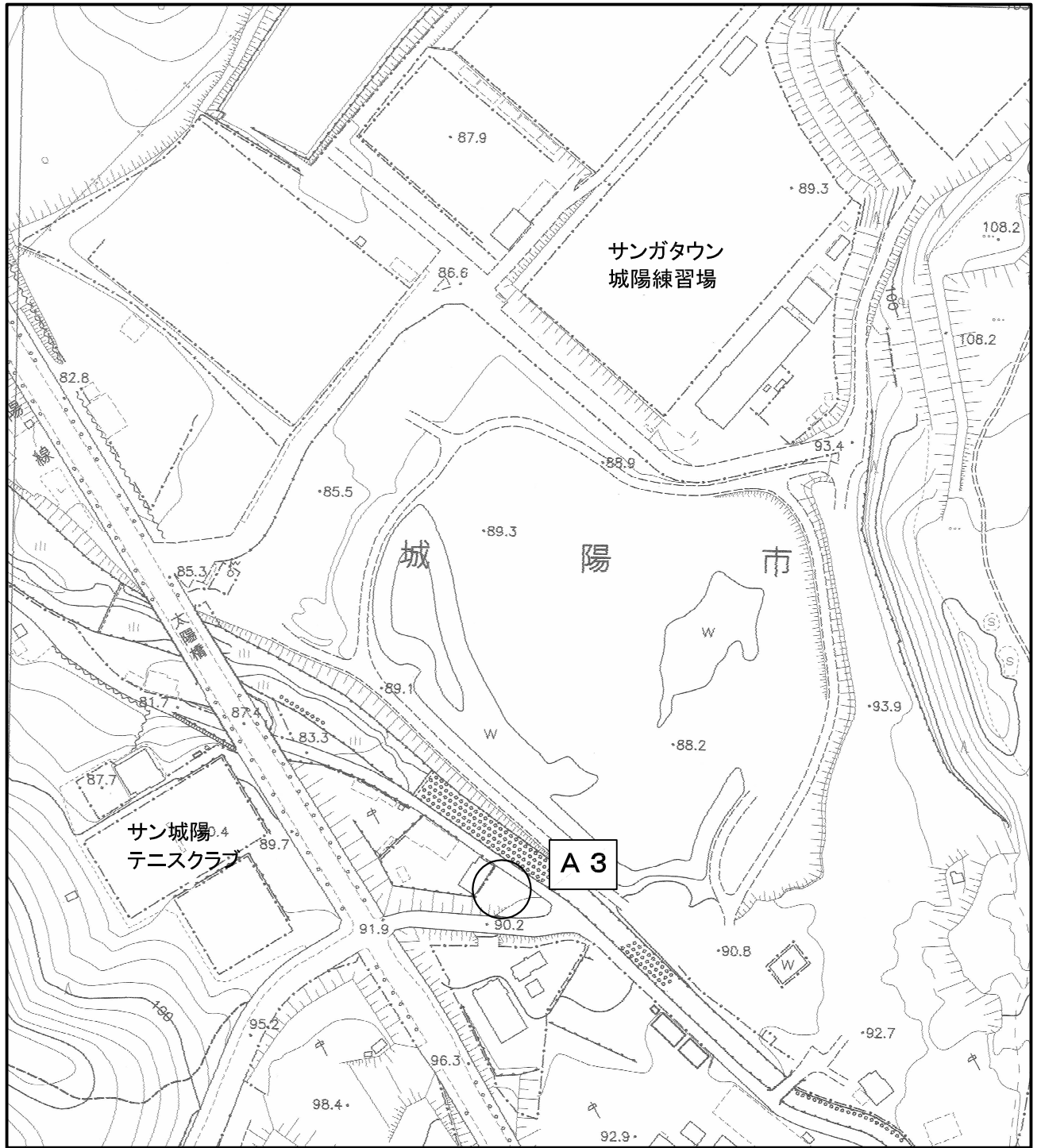


図3-2-1.3 現地調査地点詳細図(A2)



○ A3 : 城陽市寺田奥山

この地図は、城陽市発行の2千5百万分の1地形図を使用したものである

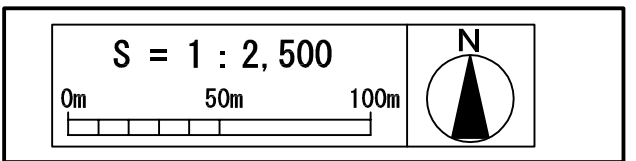
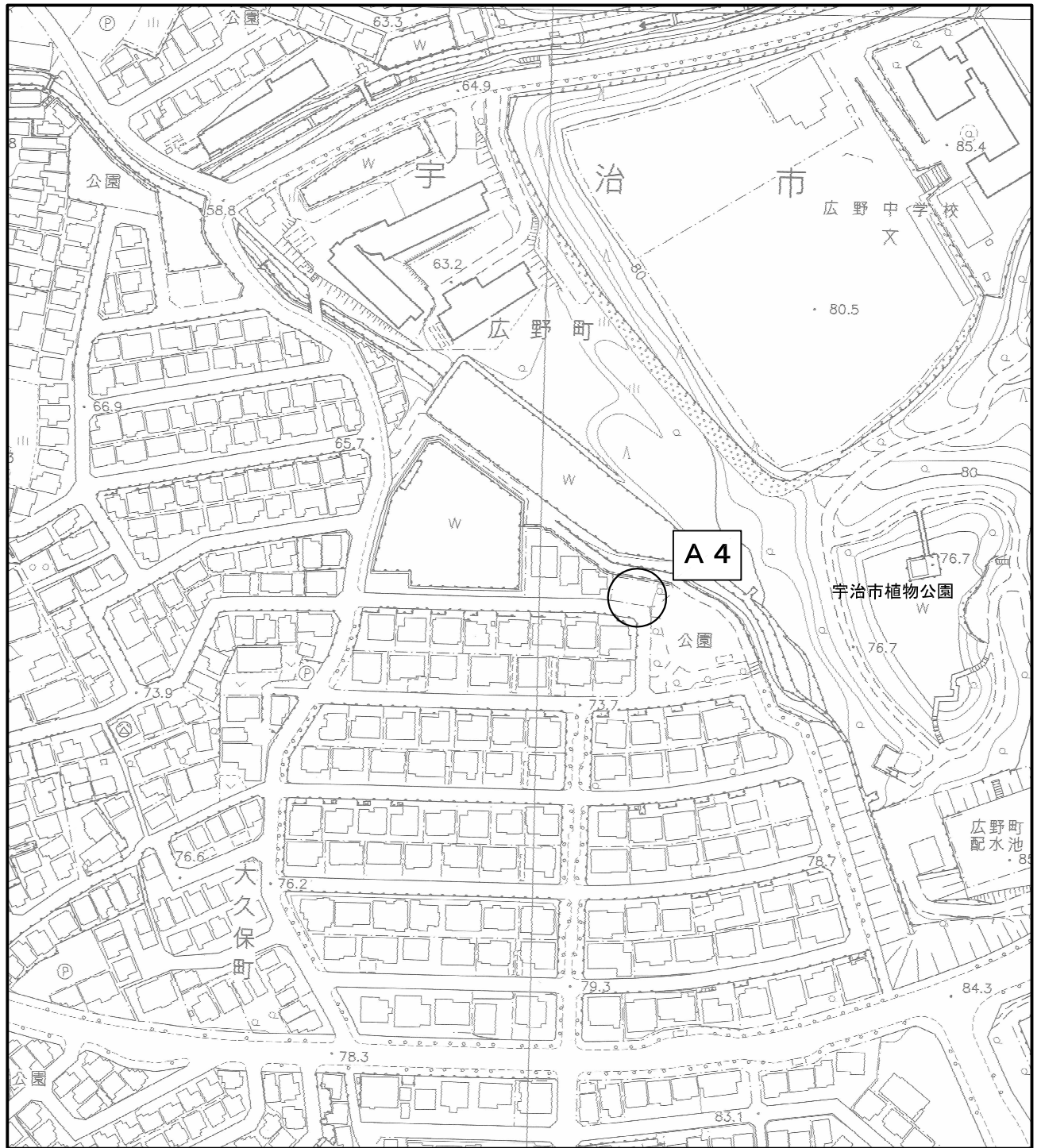


図3-2-1.4 現地調査地点詳細図(A3)



○ A 4 : 宇治市広野町尖山

この地図は、宇治市発行の2千5百万分の1地形図を使用したものである

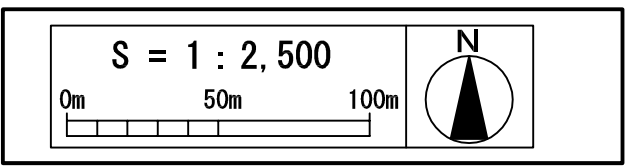


図3-2-1.5 現地調査地点詳細図(A4)

(5) 調査期間等

調査時期は、施設の稼働が定常状態となる時期（4季）で、一般的な社会活動や気象変動の周期が含まれる2週間（各季14日間）とした。

なお、ダイオキシン類は、各季7日間、降下ばいじんは各季1か月間、試料採取を行った。調査期間を表3-2-1.3に示す。

表3-2-1.3 調査期間及び頻度

調査項目	調査時期及び頻度
二酸化硫黄 浮遊粒子状物質 窒素酸化物	4季各14日間 秋季：平成30年10月16日～29日 冬季：平成31年1月15日～28日 春季：平成31年4月2日～15日 夏季：令和元年7月24日～8月6日
ダイオキシン類	4季各7日間 秋季：平成30年10月16日～22日 冬季：平成31年1月15日～21日 春季：平成31年4月2日～8日 夏季：令和元年7月24日～30日
塩化水素 水銀	4季各14日間 秋季：平成30年10月16日～29日 冬季：平成31年1月15日～28日 春季：平成31年4月2日～15日（※水銀は4月16日まで） 夏季：令和元年7月24日～8月6日
降下ばいじん	4季各1ヶ月 秋季：平成30年10月15日～11月13日 冬季：平成31年1月14日～2月13日 春季：平成31年4月1日～4月30日 夏季：令和元年7月23日～8月22日
気象 (風向・風速・気温・湿度)	4季各14日間 秋季：平成30年10月16日～29日 冬季：平成31年1月15日～28日 春季：平成31年4月2日～15日 夏季：令和元年7月24日～8月6日

※水銀については4月9日のデータが機器破損により欠測となったため、全地点で1日延長をした

(6) 調査結果

ア 二酸化硫黄 (SO₂)

二酸化硫黄の測定結果を表 3-2-1.4 に示す。

二酸化硫黄の 4 地点の 4 季を通した平均値は 0.002ppm~0.003ppm であり、各季の平均値に大きな変動は見られなかった。

また日平均値の最大値は 0.007ppm (A2 地点/夏季、A3 地点/夏季)、1 時間値の最大値は 0.016ppm (A2 地点/夏季) であり、いずれも環境基準値を下回っていた。

表 3-2-1.4 二酸化硫黄測定結果

単位 : ppm

調査地点/項目/時期		秋季	冬季	春季	夏季	4 季	予測値	環境基準
A1	期間内平均値	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.004 (0.007)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下 であり、かつ 1 時間値が 0.1ppm 以下 であること。
	日平均値の最大値	0.003○	0.003○	0.004○	0.003○	0.004○		
	日平均値の最小値	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001		
	1 時間値の最大値	0.006○	0.005○	0.008○	0.008○	0.008○		
	1 時間値の最小値	0.001	0.000	0.001	0.001	0.000		
A2	期間内平均値	0.002	0.002	0.003	0.005	0.003	0.004 (0.007)	
	日平均値の最大値	0.003○	0.004○	0.005○	0.007○	0.007○		
	日平均値の最小値	0.001	0.002	0.001	0.002	0.001		
	1 時間値の最大値	0.005○	0.006○	0.010○	0.016○	0.016○		
	1 時間値の最小値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
A3	期間内平均値	0.002	0.002	0.003	0.005	0.003	0.004 (0.007)	
	日平均値の最大値	0.003○	0.003○	0.004○	0.007○	0.007○		
	日平均値の最小値	0.002	0.001	0.001	0.002	0.001		
	1 時間値の最大値	0.006○	0.006○	0.009○	0.015○	0.015○		
	1 時間値の最小値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
A4	期間内平均値	0.002	0.002	0.003	0.004	0.003	0.004 (0.007)	
	日平均値の最大値	0.003○	0.003○	0.005○	0.005○	0.005○		
	日平均値の最小値	0.002	0.002	0.001	0.002	0.001		
	1 時間値の最大値	0.005○	0.006○	0.009○	0.009○	0.009○		
	1 時間値の最小値	0.001	0.001	0.000	0.002	0.000		

※○は環境基準値以下であることを示す
 ※予測値は長期平均濃度 (年平均値) である
 ※ () 内は、2%除外値

イ 浮遊粒子状物質 (SPM)

浮遊粒子状物質の測定結果を表 3-2-1.5 に示す。

浮遊粒子状物質の 4 地点の 4 季を通した平均値は 0.015~0.019mg/m³ の範囲にあった。

また日平均値の最大値は 0.053mg/m³ (A3 地点/夏季)、1 時間値の最大値 0.149mg/m³ (A3 地点/夏季) であり、いずれも環境基準値を下回っていた。

表 3-2-1.5 浮遊粒子状物質測定結果

単位 : mg/m³

調査地点/項目/時期	秋季	冬季	春季	夏季	4 季	予測値	環境基準	
A1	期間内平均値	0.013	0.010	0.013	0.027	0.016	0.021 (0.050)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下であり、 かつ、 1 時間値が 0.20mg/m ³ 以下であるこ と。
	日平均値の最大値	0.019○	0.019○	0.029○	0.047○	0.047○		
	日平均値の最小値	0.009	0.006	0.002	0.009	0.002		
	1 時間値の最大値	0.055○	0.043○	0.066○	0.110○	0.110○		
	1 時間値の最小値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
A2	期間内平均値	0.014	0.013	0.013	0.021	0.015	0.027 (0.058)	
	日平均値の最大値	0.022○	0.023○	0.031○	0.033○	0.033○		
	日平均値の最小値	0.008	0.006	0.003	0.009	0.003		
	1 時間値の最大値	0.040○	0.042○	0.069○	0.058○	0.069○		
	1 時間値の最小値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
A3	期間内平均値	0.017	0.013	0.014	0.031	0.019	0.021 (0.050)	
	日平均値の最大値	0.024○	0.024○	0.030○	0.053○	0.053○		
	日平均値の最小値	0.008	0.005	0.004	0.011	0.004		
	1 時間値の最大値	0.137○	0.050○	0.101○	0.149○	0.149○		
	1 時間値の最小値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
A4	期間内平均値	0.015	0.011	0.011	0.023	0.015	0.026 (0.057)	
	日平均値の最大値	0.023○	0.021○	0.028○	0.040○	0.040○		
	日平均値の最小値	0.007	0.003	0.002	0.008	0.002		
	1 時間値の最大値	0.064○	0.042○	0.069○	0.080○	0.080○		
	1 時間値の最小値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		

※○は環境基準値以下であることを示す

※予測値は長期平均濃度 (年平均値) である

※ () 内は、2%除外値

ウ 窒素酸化物 (NOx)

窒素酸化物の測定結果を表 3-2-1.6 に示す。

一酸化窒素、二酸化窒素、窒素酸化物の 4 地点の 4 季を通した平均値は、それぞれ 0.003~0.004ppm、0.007~0.008ppm、0.010~0.012ppm の範囲にあった。

また二酸化窒素の日平均値の最大値は 0.022ppm (A4 地点/冬季) であり、環境基準値を下回っていた。

表 3-2-1.6 窒素酸化物測定結果 (1/2)

単位：ppm

調査地点/項目/時期		秋季	冬季	春季	夏季	4 季	予測値	環境基準	
一酸化窒素 (NO)	A1	期間内平均値	0.004	0.005	0.002	0.003	0.003		
		日平均値の最大値	0.008	0.013	0.003	0.005	0.013		
		日平均値の最小値	0.002	0.002	0.001	0.002	0.001		
		1 時間値の最大値	0.025	0.039	0.011	0.014	0.039		
		1 時間値の最小値	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001		
	A2	期間内平均値	0.003	0.004	0.003	0.003	0.003		
		日平均値の最大値	0.005	0.011	0.004	0.004	0.011		
		日平均値の最小値	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002		
		1 時間値の最大値	0.023	0.037	0.014	0.021	0.037		
	A3	期間内平均値	0.004	0.006	0.003	0.003	0.004		
		日平均値の最大値	0.007	0.014	0.004	0.005	0.014		
		日平均値の最小値	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002		
		1 時間値の最大値	0.024	0.050	0.020	0.016	0.050		
	A4	期間内平均値	0.003	0.004	0.002	0.002	0.003		
		日平均値の最大値	0.005	0.011	0.004	0.003	0.011		
		日平均値の最小値	0.002	0.001	0.002	0.001	0.001		
1 時間値の最大値		0.027	0.048	0.014	0.011	0.048			
二酸化窒素 (NO ₂)	A1	期間内平均値	0.007	0.010	0.007	0.004	0.007	0.010 (0.022)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までの ゾーン内又は それ以下であ ること。
		日平均値の最大値	0.010○	0.015○	0.011○	0.007○	0.015○		
		日平均値の最小値	0.005	0.005	0.005	0.001	0.001		
		1 時間値の最大値	0.024	0.042	0.020	0.011	0.042		
		1 時間値の最小値	0.001	0.002	0.002	0.001	0.001		
	A2	期間内平均値	0.007	0.012	0.007	0.006	0.008	0.010 (0.022)	
		日平均値の最大値	0.012○	0.020○	0.012○	0.009○	0.020○		
		日平均値の最小値	0.004	0.005	0.004	0.001	0.001		
		1 時間値の最大値	0.025	0.037	0.036	0.019	0.037		
	A3	期間内平均値	0.008	0.012	0.007	0.005	0.008	0.011 (0.024)	
		日平均値の最大値	0.013○	0.020○	0.014○	0.008○	0.020○		
		日平均値の最小値	0.003	0.004	0.004	0.001	0.001		
		1 時間値の最大値	0.025	0.042	0.026	0.015	0.042		
	A4	期間内平均値	0.008	0.012	0.006	0.005	0.008	0.010 (0.022)	
		日平均値の最大値	0.011○	0.022○	0.013○	0.008○	0.022○		
		日平均値の最小値	0.006	0.004	0.004	0.002	0.002		
1 時間値の最大値		0.026	0.040	0.023	0.016	0.040			
		1 時間値の最小値	0.002	0.002	0.001	0.001			

※○は環境基準値以下であることを示す

※予測値は長期平均濃度 (年平均値) である

※ () 内は、98% 値

表 3-2-1.6 窒素酸化物測定結果 (2/2)

単位 : ppm

調査地点/項目/時期		秋季	冬季	春季	夏季	4 季	予測値	環境基準	
窒素酸化物 (NO _x +NO ₂)	A1	期間内平均値	0.010	0.015	0.009	0.008	0.010		
		日平均値の最大値	0.015	0.028	0.014	0.011	0.028		
		日平均値の最小値	0.007	0.007	0.006	0.003	0.003		
		1 時間値の最大値	0.038	0.072	0.031	0.017	0.072		
		1 時間値の最小値	0.003	0.003	0.003	0.002	0.002		
	A2	期間内平均値	0.011	0.016	0.009	0.008	0.011		
		日平均値の最大値	0.016	0.031	0.016	0.013	0.031		
		日平均値の最小値	0.007	0.007	0.006	0.004	0.004		
		1 時間値の最大値	0.048	0.070	0.049	0.035	0.070		
	A3	期間内平均値	0.012	0.018	0.011	0.009	0.012		
		日平均値の最大値	0.019	0.034	0.018	0.013	0.034		
		日平均値の最小値	0.006	0.006	0.007	0.004	0.004		
		1 時間値の最大値	0.048	0.090	0.039	0.028	0.090		
	A4	期間内平均値	0.011	0.016	0.009	0.008	0.011		
		日平均値の最大値	0.015	0.033	0.016	0.012	0.033		
		日平均値の最小値	0.008	0.006	0.006	0.003	0.003		
1 時間値の最大値		0.047	0.088	0.035	0.019	0.088			
		0.004	0.004	0.003	0.002	0.002			

エ ダイオキシン類

ダイオキシン類の測定結果を表 3-2-1.7 に示す。

ダイオキシン類の 4 地点の 4 季を通した平均値は、0.0093~0.014pg-TEQ/m³ の範囲にあり、いずれも環境基準値を下回っていた。

表 3-2-1.7 ダイオキシン類測定結果

単位 : pg-TEQ/m³

測定地点/時期	秋季	冬季	春季	夏季	4 季	予測値	環境基準
A1	0.020	0.014	0.0081	0.012	0.014	0.011	年間平均値が 0.6pg-TEQ/m ³ 以下であること。
A2	0.0073	0.015	0.0076	0.010	0.010	0.011	
A3	0.0082	0.012	0.014	0.0095	0.011	0.014	
A4	0.0069	0.011	0.010	0.0091	0.0093	0.012	

※予測値は長期平均濃度 (年平均値) である

オ 塩化水素

塩化水素の測定結果を表 3-2-1.8 に示す。

塩化水素の 4 地点の 4 季を通した平均値は、0.0001ppm～0.0002ppm の範囲にあり、いずれも目標環境濃度を下回った。

表 3-2-1.8 塩化水素測定結果

単位：ppm

調査地点/項目/時期		秋季	冬季	春季	夏季	4 季	目標環境濃度
A1	期間平均値	0.0001	0.0001	0.0001	0.0002	0.0001	0.02 以下
	最大値	0.0001	0.0001	0.0002	0.0005	0.0005	
	最小値	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	
A2	期間平均値	0.0001	0.0001	0.0002	0.0002	0.0001	
	最大値	0.0001	0.0002	0.0004	0.0004	0.0004	
	最小値	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	
A3	期間平均値	0.0001	0.0001	0.0001	0.0003	0.0002	
	最大値	0.0001	0.0003	0.0003	0.0008	0.0008	
	最小値	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	
A4	期間平均値	0.0001	0.0001	0.0002	0.0003	0.0002	
	最大値	0.0001	0.0003	0.0004	0.0007	0.0007	
	最小値	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	

※目標環境濃度 (0.02ppm) 環境庁大気保全局長通達 (昭和 52 年 6 月 16 日環大規第 136 号)

※測定値が定量下限値未満の場合は「<数値」で表記した。なお、以降についても同様の取り扱いとする。

カ 水銀

水銀の測定結果を表 3-2-1.9 に示す。

水銀の 4 地点の 4 季を通した平均値は、0.0016 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ～0.0019 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ の範囲にあり、いずれも指針値を下回った。

表 3-2-1.9 水銀測定結果

単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$

測定地点/項目/時期		秋季	冬季	春季	夏季	4 季	予測値	指針値
A1	期間平均値	0.0017	0.0022	0.0017	0.0019	0.0019	0.003	0.04 以下
	最大値	0.0022	0.0028	0.0023	0.0031	0.0031	—	
	最小値	0.0015	0.0019	0.0011	0.0009	0.0009	—	
A2	期間平均値	0.0016	0.0019	0.0016	0.0014	0.0016	0.003	
	最大値	0.0021	0.0025	0.0028	0.0026	0.0028	—	
	最小値	<0.0005	0.0012	0.0010	0.0006	<0.0005	—	
A3	期間平均値	0.0017	0.0018	0.0017	0.0013	0.0016	0.003	
	最大値	0.0021	0.0022	0.0022	0.0024	0.0024	—	
	最小値	0.0015	0.0013	0.0013	<0.0005	<0.0005	—	
A4	期間平均値	0.0016	0.0018	0.0018	0.0019	0.0018	0.003	
	最大値	0.0019	0.0028	0.0024	0.0036	0.0036	—	
	最小値	0.0014	0.0012	0.0013	0.0009	0.0009	—	

※指針値「今後の有害大気汚染物質対策のあり方について (第 7 次答申) (平成 15 年 7 月)」の指針値

キ 降下ばいじん

降下ばいじんの測定結果を表 3-2-1.10 に示す。

降下ばいじんの 4 地点の 4 季を通した平均値は 1.91～2.81t/km²/30 日の範囲であった。

表 3-2-1.10 降下ばいじんの測定結果

単位：t/km²/30 日

調査地点/時期	秋季	冬季	春季	夏季	4 季
A1	1.50	1.69	2.65	1.94	1.95
A2	0.98	1.85	2.75	2.07	1.91
A3	1.87	2.34	3.87	3.14	2.81
A4	2.38	1.58	2.34	3.96	2.57

ク 気象条件

気温・湿度、風向・風速の調査結果を表 3-2-1.11 に、風配図を図 3-2-1.6～図 3-2-1.9 に示す。

4 地点の 4 季を通した平均気温は 14.7℃～15.4℃、平均湿度は 67～73%であった。

また、最多風向はそれぞれ東、南南東、南東、南東であり、平均風速は 0.7m/s、0.7m/s、1.5m/s、1.6m/s であった。

表 3-2-1.11 気象観測結果

調査地点	時期	最多風向			風速			気温			湿度		
		風向	出現率	静穏率	期間 平均値	最大値		期間 平均値	最大値		期間 平均値	最大値	
						日平均値	1 時間値		日平均値	1 時間値		日平均値	1 時間値
		16 方位	(%)	(%)	(m/s)			(°C)			(%)		
A1	秋季	SSW	8.9	31.8	0.6	0.9	2.6	15.4	17.1	26.4	76	81	96
	冬季	ESE	13.7	21.7	0.7	1.2	3.7	3.6	5.0	11.9	78	92	96
	春季	E	14.6	16.7	1.0	1.3	3.5	10.7	14.7	23.9	64	89	98
	夏季	SSE	11.9	14.0	0.7	1.3	2.5	29.1	31.1	37.6	75	95	99
	平均	E	8.9	21.1	0.7	1.3	3.7	14.7	31.1	37.6	73	95	99
A2	秋季	SSE	13.7	12.5	0.6	1.2	2.7	16.1	17.5	24.6	67	75	92
	冬季	W	14.6	13.7	0.6	1.0	2.2	4.6	5.8	11.5	70	85	94
	春季	WNW	12.5	4.2	0.8	1.2	3.4	10.6	14.8	23.2	55	83	91
	夏季	SW	12.2	1.5	0.8	1.5	3.0	28.3	29.9	35.5	74	94	96
	平均	SSE	9.9	8.0	0.7	1.5	3.4	14.9	29.9	35.5	67	94	96
A3	秋季	SE	23.5	0.6	1.3	1.6	4.2	16.1	17.9	25.9	72	78	97
	冬季	SSW	24.7	1.5	1.5	2.8	5.6	4.6	5.8	12.4	70	85	95
	春季	SSE	17.6	1.2	1.7	2.5	6.0	11.2	15.4	24.8	59	87	96
	夏季	SE	18.2	0.6	1.3	2.5	5.0	29.7	31.8	39.3	70	91	96
	平均	SE	12.9	1.0	1.5	2.8	6.0	15.4	31.8	39.3	68	91	97
A4	秋季	SE	19.6	0.0	1.4	1.9	4.4	15.9	17.4	25.1	73	80	96
	冬季	NNW	18.8	1.2	1.8	3.1	6.9	4.5	5.6	12.5	68	85	93
	春季	NNW	17.9	1.2	1.8	2.6	6.2	11.0	14.9	23.1	54	82	90
	夏季	ESE	15.5	1.2	1.3	1.9	5.2	29.3	31.0	36.7	75	95	99
	平均	SE	14.4	0.9	1.6	3.1	6.9	15.2	31.0	36.7	67	95	99

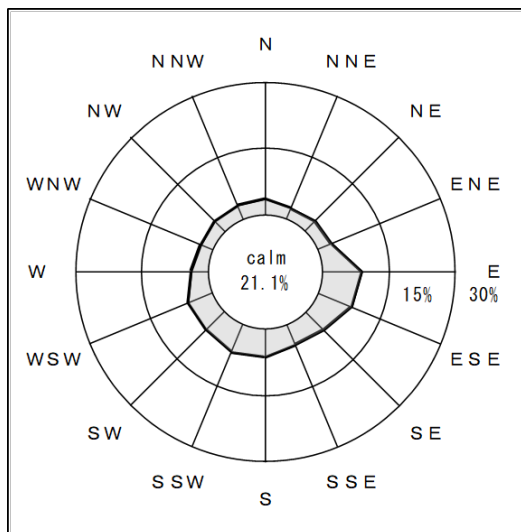


図 3-2-1.6 調査期間中の風配図 (A1)

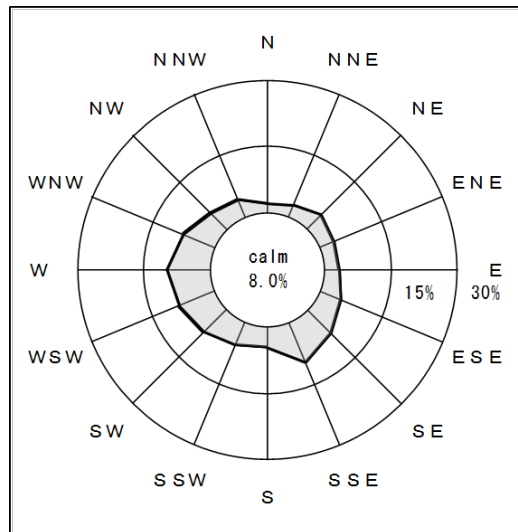


図 3-2-1.7 調査期間中の風配図 (A2)

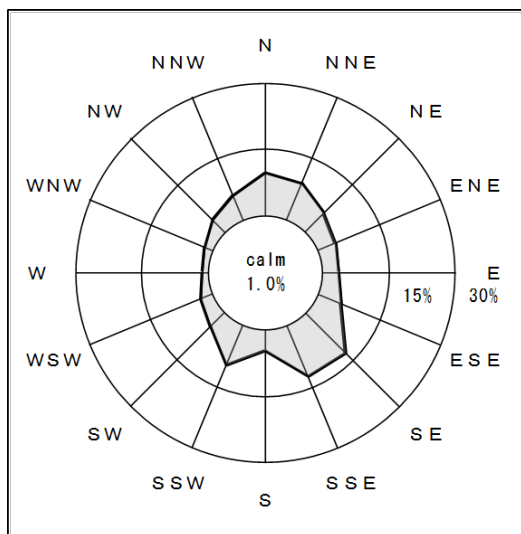


図 3-2-1.8 調査期間中の風配図 (A3)

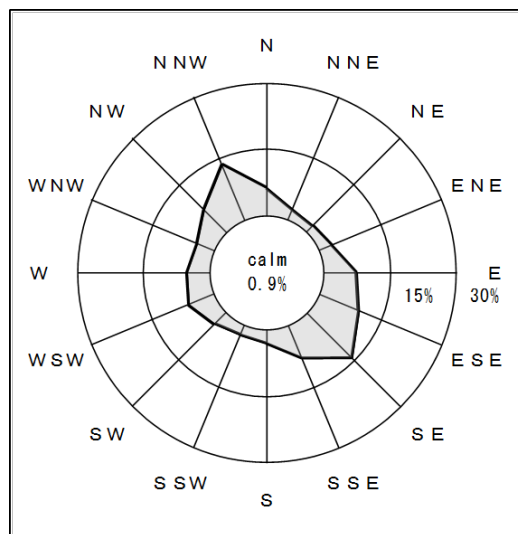


図 3-2-1.9 調査期間中の風配図 (A4)

ケ 排出口での性能試験結果

参考として、性能保証値に対する性能試験結果を表 3-2-1.12 に示す。

表 3-2-1.12 性能保証値に対する性能試験結果

試験項目	保証値	測定場所	測定結果			測定日
			試験回数	1号炉	2号炉	
ばいじん	0.01g/m ³ N 以下 (乾きガス O ₂ =12%換算)	煙突	1回目	<0.002	<0.002	H30.1.23
			2回目	<0.002	<0.002	H30.2.22
			3回目	<0.002	<0.002	H30.2.22
塩化水素	20ppm 以下 (乾きガス O ₂ =12%換算)		1回目	1	2	H30.1.23
			2回目	5	3	H30.2.22
			3回目	3	3	H30.2.22
硫酸化合物	20ppm 以下 (乾きガス O ₂ =12%換算)		1回目	3	6	H30.1.23
			2回目	9	10	H30.2.22
			3回目	8	7	H30.2.22
窒素化合物	80ppm 以下 (乾きガス O ₂ =12%換算)	1回目	47	42	H30.1.23	
		2回目	64	59	H30.2.22	
		3回目	59	54	H30.2.22	
一酸化炭素	30ppm 以下 (乾きガス O ₂ =12%換算)	1回目	10	4	H30.1.23	
		2回目	11	11	H30.2.22	
		3回目	10	19	H30.2.22	
ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/m ³ N 以下 (乾きガス O ₂ =12%換算)	1回目	0.00068	0.000062	H30.1.23	
		2回目	0.00012	0.0000023	H30.2.22	
		3回目	0.0049	0.000039	H30.2.22	

コ 排出口での定期検査結果

参考として、排出口での定期検査結果を表 3-2-1.13 に示す。

表 3-2-1.13 排出口での定期検査結果(9月)

測定項目	単位	測定日		
		平成30年9月14日		
		1号炉	2号炉	
排出ガス温度	℃	158	166	
水分量	vol%	20.6	26.5	
平均ガス流速	m/s	10.3	10.3	
湿り排出ガス量	m ³ N/h	11,700	11,500	
乾き排出ガス量	m ³ N/h	9,290	8,450	
排ガス組成分析	CO ₂	%	13.2	13.4
	O ₂	%	5.7	5.6
	CO	%	<0.1	<0.1
	N ₂	%	81.1	81.0
ばいじん	濃度	g/m ³ N	<0.002	<0.002
	12%換算値		<0.002	<0.002
硫酸化合物	濃度	volppm	11	10
	12%換算値	volppm	6	5
	排出量	m ³ N/h	0.10	0.084
窒素化合物	濃度	volppm	94	44
	12%換算値		53	25
塩化水素	濃度	volppm	5	5
	12%換算値		2	2

(7) 評価

大気質については、環境影響評価時に、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、ダイオキシン類及び水銀について長期平均濃度（年平均値）が算出されているが、本調査においてこの予測値と大きく差異のある結果が得られた項目はなかった。

浮遊粒子状物質については、短期高濃度と判断される測定値も得られたが、一般的な気象条件時の短期高濃度予測値（ $0.200\text{mg}/\text{m}^3$ ）を下回っていた。

塩化水素については、目標環境濃度（ 0.02ppm ）よりも極めて低濃度で推移していた。

降下ばいじんについては、現況調査時とほぼ同程度の濃度で推移していた。

また、施設の性能試験結果及び定期検査の結果をみても、周辺環境に大きく影響すると考えられるような調査結果は見受けられなかった。

これらのことから、施設の稼動による環境影響の程度は、小さいものであると考えられる。